

2011年：管理人が選ぶ年間表彰

	氏名	理由	次点
MVP(男子)	西岡利晃	ラファエル・マルケスを破って日本人初の米国本土防衛は、 カイの功績。暫定王者ホルヘ・ソリスを撃沈した内山も捨てがたいが、僅差で西岡を推す。	内山高志
MVP(女子)	小関桃	富樫・多田・小関ともに世界戦2戦2勝。傑出した者はいないが、伊藤まみ戦(11/30)の卓越した技巧を買 い、小関を推す。	富樫直美 多田悦子
殊勲賞	井岡一翔	7戦目で世界奪取し、2度防衛。大晦日のTKO防衛は 圧巻。2012のMVP候補の一角に。	***
	八重樫東	初挑戦の挫折を越えて悲願の世界タイトル奪取。ホンサワ ンとの死闘は年間最高試合候補の一角に。	
技能賞(男子)	内山高志	強烈な左を軸に積み上げた理詰めの攻撃で強豪ホル ヘ・ソリスを撃沈。久々に見た技術の香りが漂うTKOは MVP級。	***
技能賞(女子)	小関桃	伊藤まみ戦(11/30)の卓越した技巧に対して。	***
努力賞	清水智信	数々の試練に耐えて悲願の世界タイトル獲得。	***
KO賞	渡部あきのり	幾多の挫折に耐えて開花。東洋太平洋&日本の2冠奪 取を含めて3戦3KO。庄司恭一郎戦のワンパンチTKOは 圧巻。	***
敢闘賞	下田昭文	李洌理との激戦を制して世界王座奪取。初防衛は失 敗したが、日本人初の米国本土防衛に果敢に挑戦。	***
新鋭賞	原隆二	今年5戦5KOと破竹の勢い。	椎野大輝
年間最高試合	山中慎介vs.岩佐亮佑(3/5)	話題性、期待度、技術の香りからナンバーワン。勝者・敗 者双方の糧になる珍しい名勝負。試合の白熱度も期 待以上で文句なしの受賞。	下田昭文vs.李洌理(1/31) 淵上誠vs.佐藤幸治(12/12) 八重樫東vs.ホンサワン・ポー・ラムック(10/24)
年間最高アンダーカード	土屋修平vs.福原寛人(8/10)	土屋の強打、福原の意地が激突した壮絶な打撃戦。	***
来日あるいは日本人と対戦した外国人MVP	ジョニー・ゴンザレス	長谷川穂積を沈め、世界的強豪の実力を見せた。	***
管理人特別賞	フジテレビONE	ダイヤモンドグローブ黄金伝説の企画と大英断に感謝。	***